

「本当のパパにして」

求婚の言葉 最優秀賞決まる

「全国プロポーズの言葉コンテスト」の結果発表が二十七日、東京・六本木ヒルズ展望台であり、岩手県奥州市の主婦高橋愛さん（二八）の「途中参加のパパだけど、本当のパパにしてください」が最優秀賞に決まった。

高橋さんは、夫にプロポーズされた当時シングルマザーで「子どものパパになりたい」という彼に賞品として宝石（二十万円相当）などが贈られた。特別賞は二作品。一つは横浜市港南区の公務員宮園香代さん（三三）が受けた一月に引力があるように人の出会いにも引力がある。出会うべくして僕らは出会った。僕らは必ずそばにいるから、これからの人生を一緒にゆっくり歩いていこう」という言葉。もう一つは、福島県会津若松市の石川恵美さん（二九）が自分から贈った「少子化対策にご協力をお願いします。私だって早く素敵なドレスを着たいの。もう一秒だって待ってられないわ」。

コンテストは静岡市の特定非営利活動法人（NPO法人）地域活性化支援センターが主催した。



最優秀賞に選ばれ、娘（手前）とともにネットレスを夫に着けてもらう主婦高橋愛さん（中央）
東京・六本木ヒルズ